

フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド

Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)
Cコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり)
Dコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)

フィデリティ投信株式会社



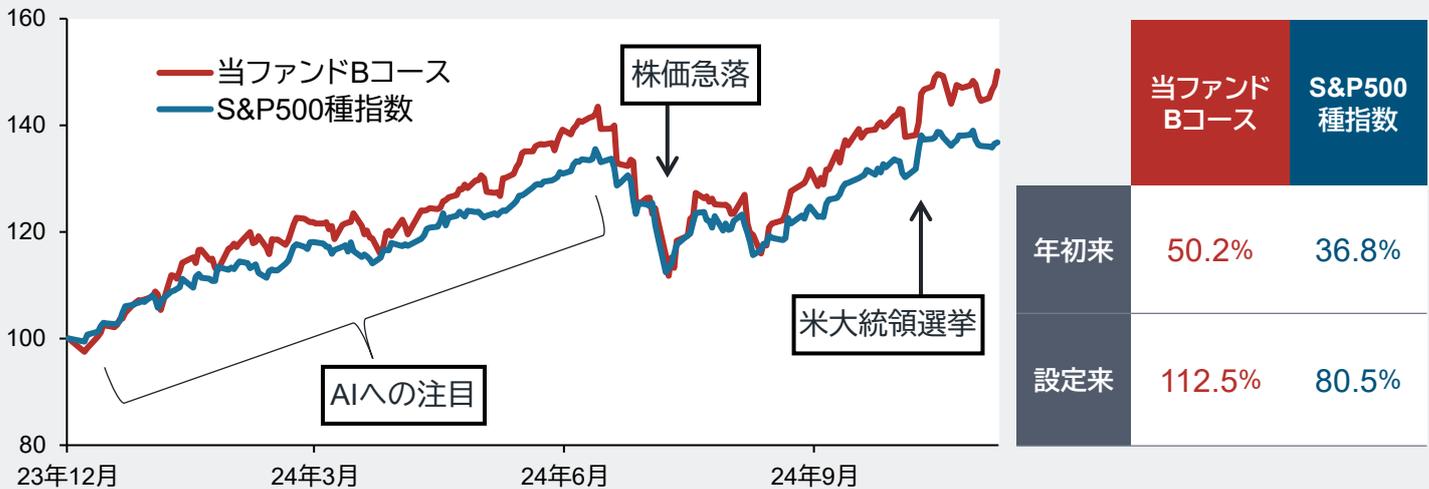
当資料の
ポイント

- Point 1** 好調な株式市場とファンド実績
- Point 2** 機動的な運用によって、次の投資機会を逃さない
- Point 3** 幅広い投資機会を追求し、市場とは異なる組み入れを実現

好調な株式市場とファンド実績

生成AI関連への期待などから市場は堅調に推移

当ファンドとS&P500種指数の推移(年初来)



(注)フィデリティ投信作成。トータル・リターン。円ベース。期間は2023年12月29日～2024年12月5日、期初を100として指数化。右表の年初来期間も同様。設定来は2023年3月29日(設定日)～2024年12月5日。S&P500種指数は当ファンドのベンチマークではありません。

S&P500種指数のセクター別騰落率(年初来)



(注)LSEGよりフィデリティ投信作成。トータル・リターン。米ドルベース。期間は2023年12月末～2024年11月末。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。

- 2024年の米国株市場は、地政学リスクへの警戒やインフレが市場の重石となりましたが、良好な雇用環境を背景に個人消費は堅調だったことや、生成AIによる生産性の拡大への期待で株価は上昇しました。
- 当ファンドにおいては生成AI関連株を中心に多くの保有銘柄が値上がりし、良好な実績につながりました。
- 2025年はトランプ次期米大統領による関税引き上げやインフレ等が懸念されるものの、減税や規制緩和の実施が期待される中、米国の企業業績は総じて良好な状況にあり、成長基調が続くと展望されます。

フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド

Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)
 Cコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり)
 Dコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)

フィデリティ投信株式会社

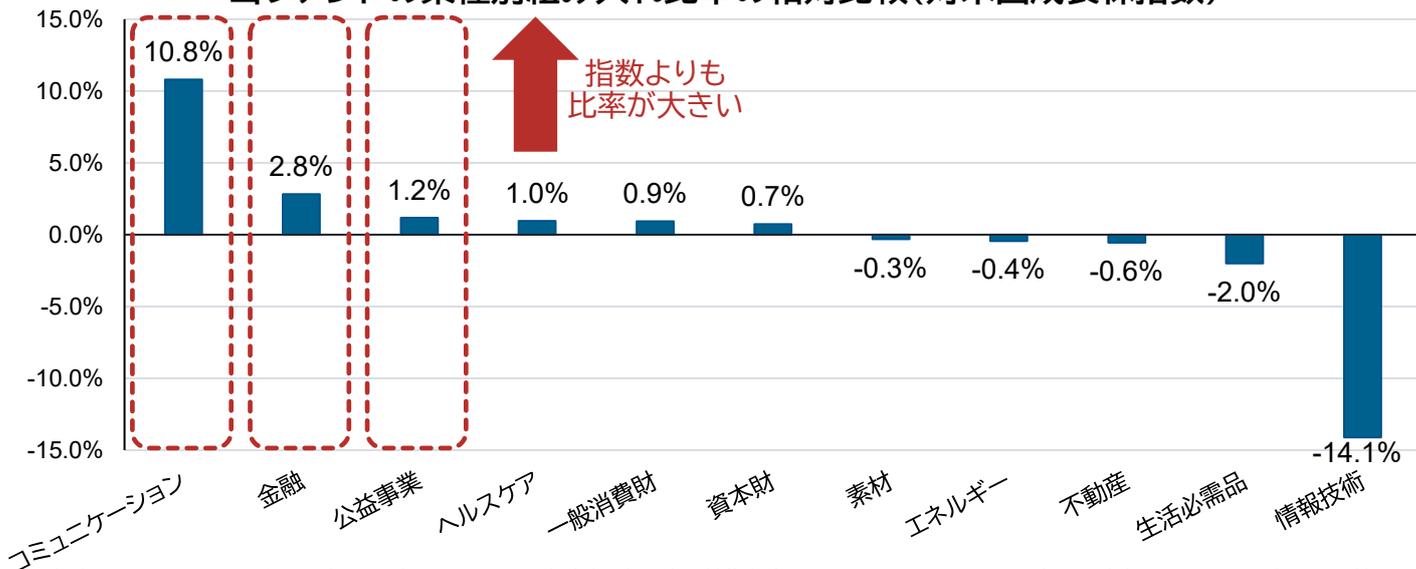


機動的な運用によって、次の投資機会を逃さない

大型グロース株に限らず成長銘柄を発掘

- 当ファンドは豊富な調査活動に基づいて、長期的な成長が期待できる企業を選別します。市場が注目する銘柄に限らず、成長性が見込める銘柄へ機動的に投資することで、特色ある業種構成となっています。

当ファンドの業種別組み入れ比率の相対比較(対米国成長株指数)



(注)FMR Coよりフィデリティ投信作成。2024年10月末時点。米国成長株指数(Russell 1000 Growth Index)の同時点の組み入れ比率との比較。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。コミュニケーション、一般消費財、資本財ともに「サービス」の表記を省略。

メタ・プラットフォームズ (コミュニケーション・サービス)

AIを積極的に活用するSNSプラットフォーム

過去3年の株価推移



(注) LSEGよりフィデリティ投信作成。期間は2021年11月末～2024年11月末。株価は期初を100として指数化。株価は配当込み。米ドルベース。写真はイメージ図。



概要

FacebookやInstagramといったSNSをグローバルで展開。

運用チームの見方

- デジタル広告市場の構造的な成長が同社業績の押し上げ要因に。
- コスト削減の進展によるマージンの改善、AIへの積極的な投資によるユーザー価値の向上から、今後も持続的な成長が見込まれる。

掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、当ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド

Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)
Cコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり)
Dコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)

フィデリティ投信株式会社



アポロ・グローバル・マネジメント(金融)

過去3年の株価推移



(注) LSEGよりフィデリティ投信作成。期間は2021年11月末～2024年11月末。株価は期初を100として指数化。株価は配当込み。米ドルベース。写真はイメージ図。

米国の大手投資会社



概要

オルタナティブ投資に特化し、特にプライベート・クレジットの分野で業界をリード。

運用チームの見方

- プライベート・クレジット分野への投資を機関投資家や富裕層が今後さらに強化していくと予想。
- このトレンドによる同社の収益押し上げ効果を加味すると、現在の株価は割安と判断。

コンステレーション・エネルギー(エネルギー)

上場来(22年1月19日)の株価推移



(注) LSEGよりフィデリティ投信作成。期間は2022年1月19日～2024年11月末。株価は期初を100として指数化。株価は配当込み。米ドルベース。写真はイメージ図。

米国最大級のクリーンエネルギー発電企業



概要

太陽光・風力発電に加え、米国最大級の原子力発電事業を展開。

運用チームの見方

- AI向けの電力消費が拡大する中、原子力発電はますます重要な電力供給源になると予想。
- データセンター向けの電力供給契約は、市場の織り込み以上に拡大していくと期待され、収益の上方修正の余地は大きいと判断。

掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、当ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド

Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)
 Cコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり)
 Dコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)

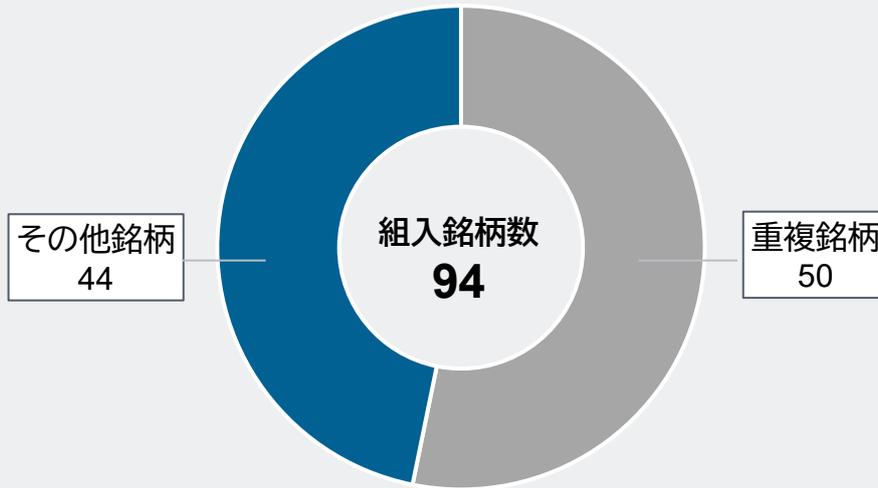
フィデリティ投信株式会社



幅広い投資機会を追求し、市場とは異なる組み入れを実現

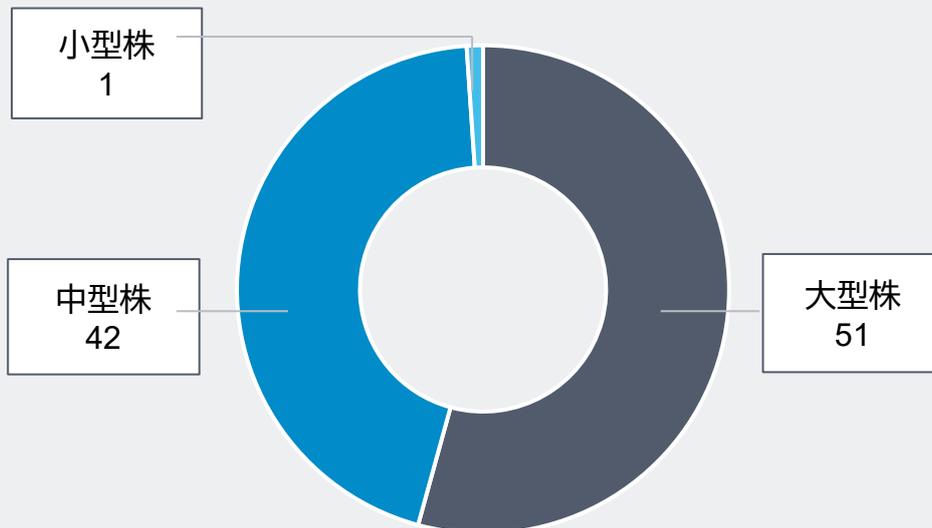
組み入れの約半分が市場指数の構成銘柄ではなく、中小型株にも注目

当ファンド保有銘柄とS&P500種指数構成銘柄の重複数



(注)LSEGよりフィデリティ投信作成。銘柄数ベースで集計。2024年10月末時点。S&P500種指数は当ファンドのベンチマークではありません。

当ファンドにおける時価総額別の保有銘柄数



(注)フィデリティ投信作成。2024年10月末時点。銘柄数ベースで集計。株式の区分は時価総額ベースで、大型株:500億米ドル以上、中型株:20億米ドル以上500億米ドル未満、小型株:20億米ドル未満。

- 市場指数に組み入れられている銘柄以外にも有望な銘柄は数多く存在しています。当ファンドは徹底的な企業調査により、3-7年先にかけて持続的、ないしは急速な成長の可能性を秘めた銘柄を幅広く発掘しています。
- 結果として、当ファンドはS&P500種指数に採用されていない銘柄が約半分を占め、さらには中小型株にも積極的に投資を行い、成長力の高い企業を選別しています。

フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド

Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)
 Cコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり)
 Dコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)

フィデリティ投信株式会社



「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド」の運用状況

基準価額等の推移

Aコース(為替ヘッジあり)

2023年3月29日(設定日)～2024年11月29日



Bコース(為替ヘッジなし)

2023年3月29日(設定日)～2024年11月29日



Cコース

(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり)
 2023年3月29日(設定日)～2024年11月29日



Dコース

(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)
 2023年3月29日(設定日)～2024年11月29日



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。※基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

商品紹介ページ



ファンドの特色・投資リスク

投資方針

- 1 フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として世界（除く日本）の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている企業の株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
- 2 企業の成長性や業績に対する株価の割安度に着目し、運用成果の向上を目指します。
- 3 個別銘柄選択にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ*」により、魅力的な投資機会の発掘に注力します。
*ボトム・アップ・アプローチとは、綿密な個別企業調査活動を行なうことにより、企業の将来の成長性や財務内容などファンダメンタルズを調査・分析し、その結果をもとに運用する手法です。
- 4 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
- 5 Aコース/Cコースは、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。
Bコース/Dコースは、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行ないません。
- 6 マザーファンドの運用にあたっては、FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

※ファンドは「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド」を通じて投資を行ないます。上記はファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色および投資方針を含みます。

収益分配方針

- 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
 - 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。
 - 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。
- ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

<Aコース、Bコース>

毎決算時（原則8月20日。同日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として上記の収益分配方針に基づき分配を行ないます。

<Cコース、Dコース>

毎決算時（原則毎月20日。同日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として上記、及び以下の収益分配方針に基づき分配を行ないます。毎計算期末の前営業日の基準価額に応じて、下記の金額の分配を目指します。

毎計算期末の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上	400円

※毎計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市場動向等によっては、委託会社の判断で左記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
※基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が左記表に記載された基準価額水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
※分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
※左記表に記載された基準価額および分配金額は将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

ファンドの主なリスク内容について

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

ファンドが有する主なリスク等（ファンドが主に投資を行なうマザーファンドが有するリスク等を含みます。）は以下の通りです。

主な変動要因

価格変動リスク

基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。

為替変動リスク

Aコース/Cコースは為替ヘッジを行なうことで、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際には当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があります。Bコース/Dコースは為替ヘッジを行わないため、外貨建の有価証券等に投資を行なう場合には、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。

エマージング市場に関わるリスク

エマージング市場（新興諸国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

クーリング・オフ

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

流動性リスク

ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てする必要が生じた場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。

デリバティブ（派生商品）に関する留意点

ファンドは、ヘッジ目的の場合等に限り、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ（派生商品）を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。

収益分配金に関する留意事項

- 1 ファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、それぞれの投資者ご自身の個別元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 2 分配金は預貯金の利息とは異なり、分配金支払い後の純資産は減少し、基準価額の下落要因となります。
- 3 分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があり、その場合当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落します。

分配方針や頻度の異なるコースが存在する場合は、投資者は自身の選択に応じて投資するコースを選択することができます。販売会社によってはコース間でスイッチングが可能です。

- 1 投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
 ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。
 ファンドの購入価額は、個々の投資者によって異なりますので、投資期間全体での損益は、個々の投資者によって異なります。



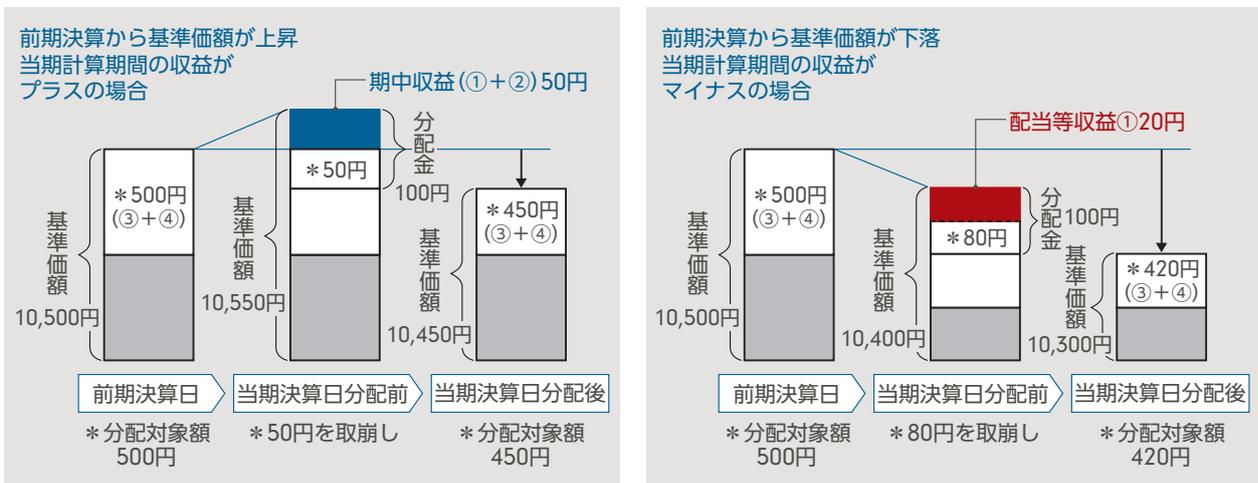
- 「個別元本」とは、追加型投資信託の収益分配金や解約(償還)時の収益に対する課税計算をする際に用いる個々の投資者のファンドの購入価額のことを指します。
 - 「普通分配金」とは、個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
 - 「元本払戻金(特別分配金)」とは、個別元本を下回る部分からの分配金です。実質的に元本の払戻しに相当するため、非課税扱いとなります。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。
- ※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

- 2 分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。



- 3 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。

投資信託は、当期の収益の他に、ファンドの設定から当期以前の期間に発生して分配されなかった過去の収益の繰越分等からも分配することができます。



- ※分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
- ※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド

Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)／Cコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり)／Dコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)
追加型投信／海外／株式

商品の内容やお申込みの詳細については

委託会社 フィデリティ投信株式会社
インターネットホームページ <https://www.fidelity.co.jp/>
電話番号 0570-051-104 受付時間:営業日の午前9時～午後5時または販売会社までお問い合わせください。

お申込みメモ

信託期間 原則として無期限(2023年3月29日設定)
収益分配 Aコース／Bコース:毎年8月20日、Cコース／Dコース:毎月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づき分配を行ないます。ただし、必ず分配を行なうものではありません。
購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
ご換金代金の支払開始日は原則として換金申込受付日より5営業日目以降になります。
申込締切時間 原則として、午後3時30分までに購入・換金の申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込み受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。
購入・換金申込不可日 ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークにおける銀行の休業日においては、スイッチングを含めお申込みの受付は行ないません。
換金制限 ファンドの資金管理を円滑に行なうため、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。
スイッチング 販売会社によっては、各コース間にてスイッチングが可能です。スイッチングに伴うご換金にあたっては、通常のご換金と同様に税金がかかります。
※なお、販売会社によってはスイッチング手数料がかかる場合があります。詳細は販売会社にお問い合わせください。

ファンドに係る費用・税金

購入時手数料 **3.30%(税抜 3.00%)を上限**として販売会社がそれぞれ定める料率とします。
換金時手数料 なし
運用管理費用(信託報酬) 純資産総額に対し**年率1.6445%(税抜 1.495%)**
その他費用・手数料
・組入価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等がファンドより支払われます。(運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示できません。)
・法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等がファンドより支払われます。(ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とします。)
税金 原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。
信託財産留保額 ありません。
※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。Aコース／Bコースは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。Cコース／Dコースは、NISAの対象ではありません。
※ファンドに係る費用・税金の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他の関係法人

委託会社 フィデリティ投信株式会社
【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号
【加入協会】一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社
運用の委託先 FIAM LLC(所在地:米国)
販売会社 販売会社につきましては、委託会社のホームページ(アドレス:<https://www.fidelity.co.jp>)をご参照ください。

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンドAコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)」[「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンドCコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり)／Dコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)」]が投資を行なうマザーファンドは、主として世界(除く日本)の企業の株式等を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<https://www.fidelity.co.jp>)をご参照ください。
- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

IECR2411-005

- フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)
 ■フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Cコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり)
 ■フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Dコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし) 販売会社情報一覧(順不同)

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
新大垣証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第11号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○			
株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○

* 上記情報は当資料作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
 販売会社によってお申込みの条件、制限等が異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

IM241211-1 CSIS241212-3